

しあわせ福祉

社会福祉法人 池田町社会福祉協議会
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1628-2
池田町福祉センター内
☎45・8123 ☎45・9604
E-メール:syakyou@town.ikeda.gifu.jp
ホームページ:http://www.gifu-ikedasakyoyo.jp

2024
11
vol.209

この「しあわせ福祉」は赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

★赤い羽根共同募金にご協力をお願いします★



10月1日(火)
よってみーな池田様のご協力のもと、
街頭募金を実施しました。多くの皆さん
にご協力いただきまして誠にありがと
うございました。
赤い羽根共同募金は12月まで行って
おりますので、よろしくお願ひします。

災害義援金受付中

- 令和6年能登半島地震 石川県、富山県、福井県、新潟県
- 令和6年山形県大雨災害義援金
- 令和6年秋田県大雨災害義援金
- 令和6年能登豪雨災害義援金

しあわせ
相談センター
11月・12月
相談開設日

- * 障がい者相談 11月12日(火)・12月10日(火)
- * 結婚相談 11月10日(日)・11月25日(月)
12月8日(日)・12月23日(月)
- * 生活相談 11月19日(火)・12月17日(火) ※予約制(前日まで)
- * 法律相談 12月24日(火) ※予約制(前日まで)・利用料1,000円

場所 福祉センター 相談室
時間 午後1時～4時
問い合わせ・申し込み
池田町社会福祉協議会
☎45・8123



社会福祉法人
池田町社会福祉協議会
会長 坪井一雄

会長就任のごあいさつ

平素は、池田町社会福祉協議会の活動に対して、温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、理事会の選任により、令和6年8月30日をもちまして、会長に就任いたしました。

「つながり合い、お互いに幸福を分けあい、受け取れるまちづくり」を目指して地域福祉の推進をはじめとした各種事業の展開に、職員一丸となって努めて参ります。

今後も皆様の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げまして、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

ひとり親世帯を応援します！～歳末助け合い食料支援事業～

池田町社会福祉協議会では昨今の物価高騰の中、生活に影響を受けているひとり親世帯の方が少しでも安心した年末を過ごしていただけるよう、食料(お米券など)を配布します。※今回の取り組みは「歳末たすけあい募金」を活用して実施します。



- ◎配布日 ①12月25日(水) ②12月26日(木)
- ◎配布場所 福祉センター(本郷1628-2)
- ◎申込方法 利用申込書にご記入の上、社会福祉協議会まで提出してください。
*申込書は社会福祉協議会にあります。(社会福祉協議会HPからダウンロードも可)
*配布数は20セットと限りがあるため、先着順とさせていただきます。
- ◎申込受付期間 11月11日(月)～12月9日(月)
- ◎問い合わせ 池田町社会福祉協議会 ☎45・8123

お米のご寄付を募集しています！

池田町社会福祉協議会では経済的理由で生活にお困りの方に食料支援を行っており、お米をご寄付していただける方を募集しています。ご協力いただける方は社会福祉協議会までご連絡ください。



- 【申込受付期間】 お米(保存用の冷蔵庫がないため玄米がありがたいですが、精米済みのお米についてはご相談ください)
- 【連絡先】 池田町社会福祉協議会 ☎45・8123

訪問介護員を募集しています

- 募集人数: 若干名
- 業務内容: ご利用者(高齢者および障がい者)宅での介護保険法および障がい者総合支援法に基づく訪問介護業務
- 勤務地: 池田町
- 雇用形態: 社会福祉協議会非常勤職員(1年契約、更新あり)
- 応募資格: 介護福祉士、介護職員初任者研修修了者、ホームヘルパー1・2級、普通自動車免許(自家用車で活動)
- 待遇: 社会福祉協議会の規定に準ずる
- 勤務日および時間: 応相談

支援員を募集しています

- 募集人数: 若干名
- 業務内容: 放課後等デイサービスとらいあんぐるでの障害児支援業務
- 勤務地: 池田町
- 雇用形態: 社会福祉協議会非常勤職員(1年契約、更新あり)
- 応募資格: 高校卒業以上、普通自動車免許
- 待遇: 社会福祉協議会の規定に準ずる
- 勤務日および時間: 応相談

障害福祉サービス事業所 ふれ愛の家職員を募集しています

- 職種: 生活支援員
- 募集人数: 1名
- 勤務地: 池田町
- 雇用形態: 社会福祉協議会非常勤職員(1年契約、更新あり)
- 応募資格: 普通自動車免許
- 待遇: 社会福祉協議会の規定に準ずる
- 勤務日: 月～金(行事等の休日出勤あり)
- 勤務時間: 午前8時30分～午後5時15分

- 職種: 送迎車の運転
- 募集人数: 1名
- 勤務地: 池田町
- 雇用形態: 社会福祉協議会非常勤職員(1年契約、更新あり)
- 応募資格: 普通自動車免許又は大型免許
- 待遇: 社会福祉協議会の規定に準ずる
- 勤務日: 月～金(行事等の休日出勤あり)
- 勤務時間: 午前8時30分～9時30分 午後4時～5時

【問い合わせ】 池田町社会福祉協議会 ☎45・8123

令和6年度

社会福祉協議会の会費へのご協力ありがとうございました

町民の皆さんをはじめ、法人・福祉施設様よりご協力をいただき誠にありがとうございました。

これらの会費は、民生児童委員・福祉委員による見守り活動や地区福祉連絡会などの地域福祉活動、各小中学校や地域での福祉出前講座などの福祉啓発活動に活用させていただきます。

今後も、「つながり合い、お互いに幸福(しあわせ)を分けあい、受け取れるまちづくり」の基本理念を基に、様々な福祉活動を展開していきますので、皆さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会費総額 計 7,097,000円

(令和6年9月24日現在)

	口数	区・事業所・施設数	金額
一般会費 (一口1,000円)	6,490	46	6,490,000
特別会費 (一口5,000円)	119	103	595,000
施設会費 (一口3,000円)	4	4	12,000



<ご協力いただいた事業所・施設名> (順不同、敬省略)

特別会費(法人会費) 1口5,000円

2口	医療法人 ORALISS	瑞草園(株)	(株) BANRYUU 企画
アイビー電子工業(株)	揖斐タクシー(株)	(株)杉山製作所	(有) 樋口文具店 (カマサ書房)
(株)アクリア	(株)上野カーズ	セイノウ設備(株)	ふじい内科クリニック
アビ(株) 池田工場	(株)ウノウ電子 池田工場	(有)西濃八幡運輸	(株)マツオカ
(株)池田環境保全	(株)遠藤造園	(株)西武管商	(株)松田石材
いけだ整形外科リウマチクリニック	大塚酒造(株)	(株)セントラル	(株)ミツボシ
イビデン樹脂(株)	(株)岡田鉄工	(株)第一インテリア	みどりの森八幡こども園
(株)岐阜セラック製造所 池田白鳥工場	小川工務店	(有)大廣技建	美濃池田ガス (株)
(有)久保田建設	おひさまデンタルクリニック歯科・矯正歯科	(株)大徳ライン	みみはなのドレンジクリニック
児玉商店	加藤建設(株)	太陽工業(株)	むらせファミリークリニック
サンローヤル	(有)勝野木工ガラスセンター	竹中造園	養基プリント
西濃化成(株)	(株)カネキ 立川ガス	(株)棚橋牧場	安田工業(株)
第一建設(株)	(株)河村綜建	(有)田中ポンプ	(株)矢野建材建設
たけなか歯科クリニック	共栄化成(株)	(株)タニサケ	(有)養香園
電化センター ニシカワ	(株)協和安全	(有)電化の五十川	いび川農協池田支店
宗教法人 平和教会	(有)国枝工業	東神電工(株)	大垣共立銀行池田支店
ラッキー工業(株)	国枝設備	(有)中野屋	大垣西濃信用金庫池田支店
1口	(株)久保田庭石店	(有)長良義肢製作所	十六銀行池田支店
AIMS (株)	(有)コアオフィスシステム	成瀬建設(株)	施設会費 1口3,000円
あいりレー池田、あいりレー八幡味の素冷凍食品(株)	社会福祉法人 城山会 特定介護施設 ところ	(有)西川治具工業	温知保育園
(有)あわの商会	コスモ幼稚園	西川木工(株)	西保育園
池田こども園	コダマ樹脂工業(株)池田工場	西美濃さくら苑 (介護老人保健施設事務組合)	宮地保育園
池田石材工業(株)	(株)さくらホーム	西美濃の里	養基小学校 養基保育所組合
市橋保育園	サシヒロ(株)	四季旬彩ニュー池田	
揖斐川工業(株) 池田工場	サンビレッジ新生苑	羽田歯科医院	
今西土地開発(株)	シーベック(株)	浜田電気(株)	
(有)今利屋呉服店	しまむら歯科クリニック	(株)はまだや 池田工場	
(株)イノアックコーポレーション	新生病院	(有)林石材	
	(株)新生メディカル 池田営業所	(株)ハラテックス	



善意のご寄付
ありがとうございました

◎社会福祉協議会へ

池田・神戸ライオンズクラブ
会長 箕浦 浩様………24,000円

ご存じですか？災害ボランティアセンター

社会福祉協議会（以下 社協）では、甚大な災害が発生した際、災害ボランティアセンターを立ち上げます。今年1月1日に発生した能登半島地震の際も、現地の社会福祉協議会では災害ボランティアセンターが立ち上げられました。災害ボランティアセンター運営支援として、本会職員も3月に現地（珠洲市）で活動を行いました。

災害ボランティアセンターって何？

Q 何をする所なの？

甚大な災害により、自力での対応が困難な被害が発生した際、被害状況を確認し、住民の方の困っていること、助けが必要なことの情報を収集します。お困りごとの内容に応じて、家財やガレキの運びだしなどの活動をボランティアさんが行えるよう調整し、受け入れを行います。災害ボランティアセンターは、ボランティアの助けが必要な人とボランティア活動をしたい人を繋ぐ役割をもちます。

<能登半島地震 被災地での災害ボランティアセンター運営の様子>



被害状況確認・依頼の受付
(お困りごとの把握)



ボランティアさん
受入れの調整



ボランティアさんの受入れ



資機材の貸し出し

Q どんなことが対応できるの？

家具・家財の運びだしやガレキの運搬、屋内清掃、泥だしなど

能登半島地震では、被害が甚大で一般のボランティアさんでは対応できないケースがあり、重機等を扱える技術系ボランティアさんが対応にあたる場合も多かったです。



ボランティア活動へ

本会では、ホームページ及びSNS（インスタグラム）において、有事の際、災害ボランティアセンターについての情報をお知らせします。

普通救命講習会

9月18日（水）と24日（火）の2日間に分かれ、大垣北部消防署のご協力のもと、社会福祉協議会職員や災害救援ネットワーク池田の会員の皆さんが受講しました。日頃の方が一に備え心肺蘇生やAEDの使用方法を学びました。過去に受講していても、忘れていたり、方法が変わっていたりするので、繰り返し受講することの大切さも知りました。



災害ボランティアセンター開設訓練を行いました

令和6年9月29日(日)に令和6年度 池田町総合防災訓練が温知小学校で開催されました。その中で「災害救援ネットワーク池田」の皆さんと「災害ボランティアセンター開設訓練」を行いました。

この訓練の目的は池田町で大きな災害が発生し、町内外からのボランティアの受け入れが必要となった場合に災害ボランティアセンターを設置し、ボランティアの受け入れと被災者のボランティア依頼について円滑な支援を図ることです。

当日ご参加していただいた池田町ジュニアリーダーズクラブの生徒(計7名)の皆さんには被災者役及びボランティア役としての訓練を体験していただき、まさに実践しながらの訓練ができました。

能登半島地震・豪雨では甚大な被害に見舞われており、災害ボランティアセンターを通してのボランティア活動が行われています。また、池田町でも9月の台風10号による大雨で河川の氾濫などが起きた際、ボランティアを希望される方からの問い合わせも複数件あり、災害に対する意識が年々高まっています。「災害ボランティアセンター」の役割は、さらに重要となってきていますので、この訓練を今まで以上に強化していきたいと思っております。



災害ボランティアセンターの様子



ジュニアリーダーズクラブを交えての訓練の様子

池田シニアクラブ

花壇コンクールの成績発表

毎年恒例となりました「池田シニアクラブ 花壇コンクール」に17の単位老人クラブの参加がありました。花苗を6月14日に配布し、8月6日に外部審査員による花壇審査が行われました。どのクラブもしっかり手が行き届いておりどれも甲乙付け難い審査となりました。

上位 入賞クラブは以下の通りです。

最優秀賞	青柳老人クラブ
優秀賞	田中シニアクラブ
	下八幡シニアクラブ なごみ会
敢闘賞	溪南シニアクラブ
	北池野ゴールドクラブ
努力賞	新生会(新生町)
	願成寺シニアクラブ
	上八幡西老人クラブ

▼青柳老人クラブ



最優秀賞

田中シニアクラブ▶



優秀賞

▼下八幡シニアクラブ なごみ会



優秀賞

▼溪南シニアクラブ



優秀賞



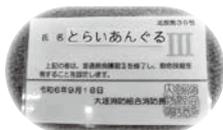
池田ふれあいサポートセンター



放課後等デイサービス とらいあんぐる

コスモスの花が風に揺れ、日に日に秋らしくなってきました。…と同時に長かった夏の疲れが出てくる頃です。子ども達の中には、風邪気味で咳や鼻声の子も増えてきました。いつも私たちは、子ども一人ひとりの様子を観察しながら、普段と変わったところはないか、気を付けながら見守っています。

皆さんは、AEDという言葉を目にすることはありますか？サポートセンターの事務所の中にも設置してあります。先日、万が一の場合に備え誰でも使えるように普通救命講習を受講しました。消防隊員の方がみえて、本番さながらの実技もありました。とらいあんぐるでは、使うことがないように、今まで通り安全には十分に配慮し子ども達が、笑顔でいてくれることを願っています。



「病児・病後児保育室 ひまわり」登録説明会

9月21日(土)に「病児・病後児保育室 登録説明会」を開催しました。参加者の方々は利用方法の説明を聞いたり、保育室の見学、玩具や工作で実際の過ごし方を体験されました。「お熱が出たら来るんだよ」「楽しい玩具がたくさんだね～」などと利用される時に向け安心感を持っていただけたようです。ご参加いただきました皆さん、楽しい時間をありがとうございました。

登録は随時受付をしています。冬の感染症に備え念のために登録を済ませておくことと安心ですね！（一度登録されるとその後の再登録は必要ありません）登録をご希望の方は事前にお電話で予約をお願いいたします。



申し込み・問い合わせ
池田ふれあいサポートセンター ☎45・3916

9月20日、岐阜県の愛護ふれあいバス事業で名古屋港水族館へ行ってきました。新型コロナウイルス感染症の為一時中断していましたが、昨年からの再開され、西濃ブロックの施設の方たちと一緒に出掛けました。今年も、ご利用者の皆さんはとても楽しみにされ、前の週あたりから、天気予報を見ながら、「台風来るのかな。」「晴れると良いな。」と話をしたり、水族館の動画を見たりしてワクワクしながら待っていました。当日は皆さんの願いが届いたのか、汗ばむくらいの晴天となりました。イルカショーをはじめ、イワシの回遊など館内を見学し、お土産も買うなど皆さん楽しく過ごされました。

日に日にみんなで出かける機会も増えてきました。楽しい思い出がもつと増えるように計画していきたいです。



名古屋港水族館 へ行ってきました



問い合わせ 池田町障害福祉サービス事業所 ふれ愛の家 ☎44・1877

1 はじめに

宮地小学校の福祉教育の目標は、「共に生きる喜びや人々とふれあう喜びを通して、充実感を味わわせる指導の推進」です。5年生は、総合的な学習で「ふるさと宮地の福祉」をテーマに学習しています。前期は、調べ学習や様々な体験を通して学び、後期はその学びを生かして老人福祉施設「ちゃぼぼ」で交流活動に取り組みます。

2 活動事例

宮地小学校5年生の実践

(1) パラスポーツ体験「ゴールボール」 6月13日(木)

パラスポーツ協会から3人の講師の方を迎えて、ゴールボールの体験をしました。始めに、講師の説明から「パラスポーツは障がい者のためだけのものではなく、障がい者も健常者も共に楽しむことができるもの」であることを理解しました。その後、アイマスクをして「見えない世界」の中で、

ゴールボールを体験しました。ボールの中の鈴の音と仲間の声を頼りにボールの位置を把握してゴールを守ることの難しさと同時に、パラスポーツの楽しさを味わうことができました。また、声をかけ合ってボールの受け渡しをしたり、仲間の手を取ってひもが埋め込んだであるラインの場所を教え合ったりして「支え合い」が大切であることを学ぶことができました。



児童の感想

- ・パラスポーツは、健康な人も障がい者の人も同じルールで行うスポーツということに興味がありました。
- ・ゴールボールでは、ボールの中の鈴の音でボールの場所が分かるだけでなく、仲間の拍手や声で味方の位置を理解することが大切だと分かりました。
- ・もっといろいろなパラスポーツをやってみて、障がい者の人はこんな感じでスポーツをやっているんだということを知りたいです。
- ・どこかが不自由な人も、パラスポーツで楽しかったり悔しかったりする気持ちを味わえると思いました。

池田町立 福祉活動

宮地小学校 ~福祉協力校の活動紹介~

3 終わりに

これまで調べたり体験したりしたことを生かして、今後の「ちゃぼぼ」での交流で高齢者の方のたくさん笑顔を見ることができるよう、活動の内容を考え、工夫していきたいです。また、高齢者の方と一緒に過ごす体験を通して、「共に生きる」ことの大切さやその中で必要なお互いを思いやることの意義を実感できるようにしたいと思っています。

(2) 福祉出前講座① 「認知症理解講座」 9月3日(火)

サンビレッジ新生苑の安田さんに講師としてきていただき、認知症とはどんな症状なのか、どのように接したらよいのかを学びました。また、認知症の人が分からなかったり忘れてしまったりすることに焦りや不安を感じていること、人それぞれできることやできないことが違っており、それは私たちと同じであることなど、自分たちの生活の中で大切な考え方も教えていただきました。お話をいただいた後、実際に高齢者と接するときのロールプレイを行い、目線を合わせて聞こえやすい声で話すことを体験しました。

(3) 福祉出前講座② 「高齢者疑似体験・車いす体験」 9月20日(金)

体育館で「高齢者疑似体験」と「車いす体験」を行いました。「高齢者疑似体験」では、視野が狭くはつきり見えないゴーグルを付けた背中がまっすぐに伸びせぬ装具を付けた状態で、動きづらさを体験しました。介助する側になったときには、次の行動について「○しますよ。」と声かけること、階段では常に下にいなければならぬことなどを教えていただきました。「車いす体験」では、車いすを押して段差を越えたり、スロープで車いすを後ろ向きにしたりすることを学びました。また、自分で車いすを操作してS字のコースを進んだりバスケットゴールにボールを投げたりして、乗る側、介助する側の両方を体験することができました。

児童の感想

- ・認知症の人は自分でもやりたいけどできないこともあるので、認知症の人の気持ちになって接したいと思いました。
- ・今度、「ちゃぼぼ」に行ったら、今日習ったあいさつの声を意識してがんばりたいです。
- ・若い人が認知症の人を助けたりして、困る人が少なくてよくなって、よりよい町にしたいです。
- ・大おばあちゃんのためにできることを見つけたいです。

児童の感想

- ・高齢者体験では、おもりを付けたりぼやけているゴーグルを付けてけっこうきつかったけど、お年寄りの人たちはこの何倍も大変なんだと思いました。
- ・車いすに乗るときはブレーキをかける、車いすを押す人は声をかける、閉じるときは指を挟まないようにするなど、気を付けることがたくさんあることが分かった。
- ・声をかけて安心してもらうこと、相手のペースに合わせることをちゃぼぼで生かしたい。
- ・階段を下りるときは手すりがないと怖いので、階段を下りているお年寄りを見たら助けたいです。

